

学生会だより

中国四国学生会の活動 (中国四国学生会)

中国四国学生会は、中国 5 県(岡山, 鳥取, 島根, 広島, 山口)と四国 4 県(愛媛, 香川, 高知, 徳島)の 14 大学, 12 工業高等専門学校に属する 750 余名の学生会員を擁する組織である。以下に、中国四国学生会の主な活動状況を記す。

1. 卒業研究発表講演会

卒業研究発表講演会は、毎年 3 月の卒業時期に開催され、多数の学生会員が、1 年間の卒業研究の成果を発表する場となっている。2008 年度の第 39 回学生会員卒業研究発表講演会は、2009 年 3 月 5 日に山口大学工学部で開催され、申し込み件数 320 件であった。15 室の会場で、1 年間取り組んできた研究成果を熱心に発表し、また発表に対し活発な討論がなされ、きわめて盛況な講演会であった。この講演会で優秀な発表を行った学生に対して贈られる優秀発表賞は、29 件であった。ここ数年の講演申し込み件数は、増加の傾向(第 35 回: 237 件, 第 36 回: 282 件, 第 37 回: 297 件, 第 38 回: 317 件)にある。中国四国支部では、発表者は、(社)日本機械学会の学生会員であることが条件とされている。したがって、発表件数の増加にともない学生会員数も微増(538 名(2005), 702 名(2006), 750 名(2007), 710 名(2008),

759 名(2009))の傾向にある。学生は、この研究発表会で発表することが会員となる一つのきっかけになっている。こうしたことを考えると、卒業研究発表講演会をより活性化させ、さらに多くの学生が学生会員となることを、そして卒業後も継続して機械学会会員として活躍してくれることを期待する。なお、2009 年度の第 40 回学生会員卒業研究発表講演会は 2010 年 3 月 5 日(金)に広島工業大学で開催される予定である。

2. 第 47 回全国学生研修会への参加

2009 年 8 月 5 日(水)から 7 日(金)までの 3 日間、第 47 回全国学生研修会が関東支部学生会の企画で開催された。この研修会には、大学院生 2 名, 学部生 3 名と学生委員会委員の福島千晴氏(広島工業大学)が参加した。第 1 日目と 2 日目に開催された委員長校会には伊藤紀和君(広島工業大学)が参加し、①学生会の運営について、②来年度以降の全国研修会について、協議事項の審議に加わった。本研修会に参加した学生の満足度はきわめて高いものであった。企画開始から 1 年にわたり、学生が興味を示す航空・宇宙とロボット技術などの見学・研修、また、会員相互の交流を深める懇親会など、多大な準備とその実施のお世話をされた関東支部の先生方と学生に深謝致します。

3. 機械の日・機械週間

8 月 7 日の「機械の日」を中心に 7 月末から 8 月末にかけて、中国四



図 1 超大型エンジン工場の見学



図 2 講演会の様子

国支部の各校で「機械の日」イベントが開催された。ポスタの掲示、パンフレットの配布、研究室の開放と見学会、講習会および講演会の実施など、各校とも小学生から一般人までを対象とした種々の企画が実施され、先端機械システム技術の啓蒙、機械学会の説明および 8 月 7 日が「機械の日」であることの周知がなされた。各校とも、機械システム技術を身近に感じ、また、その重要性を理解いただく機会となるよう努めた。中国四国支部としては、「学生フォーミュラとロボコン体験・超大型エンジン工場の技術見学」を企画し、三井造船(株)玉野事業所の高さ 9m の大型船舶用エンジンの製造工場見学会、岡山大学で、工学部と学生グループが製作したロボットの見学

会が催された(図1および図2)。
〔広島工業大学 工学部機械システム
工学科 教授 中西助次〕

東北学生会の活動 (東北学生会)

東北学生会は、委員長校の秋田大学を始め、東北6県の大学10校、工業高等専門学校6校、あわせて16校で構成されている。具体的には、八戸工業大学、八戸工業高等専門学校、弘前大学、岩手大学、一関工業高等専門学校、秋田大学、秋田県立大学、秋田工業高等専門学校、東北大学、東北学院大学、仙台高等専門学校、山形大学、鶴岡工業高等専門学校、いわき明星大学、福島工業高等専門学校、日本大学の16校である。

1. 会員校メール会議

東北学生会では2002年の32期をもって幹事校会がなくなって今に至っている。現在は電子メール会議により顧問教員を通して事業計画や予算案などの審議を行っている。本年度で7回目となる39期メール会議は7月下旬から8月上旬にかけて実施された。会員校が集まる機会が減って学生会活動を活性化させるためにはマイナス要素のように受け取られがちであるが、個々の会員校の活動は十分活発であり、学生会活動のメイン行事である「メカライフの世界」展への参加校や卒業研究発表講演会の発表件数はこ

こ数年増加傾向である。電子メール会議による会員校の負担軽減、東北学生会予算のコスト削減などとも相まって、逆に会員校個別の学生会活動の活性化につながっているようにも見える。

2. 第47回全国学生研修会

(社)日本機械学会第47回全国学生研修会は関東学生会の担当で2009年8月5日から7日まで筑波研修センターをメイン会場として開催された。東北学生会からは委員長の高橋和也君(秋田大学, M1)、副委員長の天津里美さん(秋田大学, M1)と松尾裕矢君(秋田県立大学, 4年)の3名が参加した。会期中は筑波宇宙センターを始め、宇宙、航空、原子力、ロボットなどの先端の施設見学などが行われ、大いに研鑽を積んだようである。また、会期中に行われた委員長校会では、全国研修会の参加者の増員や参加費用の値下げなども活発に話されたようであったが、残念ながら9月30日の第2回学生員会員部会にて来年度からの全国研修会は取り止めになり、今後の学生員の交流の場は「学生交流会」(年次大会期間中)をメインとすることに決まったようである。

3. 「メカライフの世界」展

本年度の「メカライフの世界」展には東北学生会の会員校8校が参加して実施された(表1)。秋田大学では2009年10月24日の秋田大学祭、秋のオープンキャンパスと同時開催された。カラクリ時計、ろうそく船プロ



図1 ロボットコンテストの実演



図2 「たたら製鉄」の実施

ジェクト、ロボットコンテストの実演(図1)等のほか、野外で朝5時から準備にかかった「たたら製鉄」の実施(図2)では3分おきに200gの砂鉄を投入し、100回、6時間の連続操業で数キロの鉄を得ることができたようだ。外国人教員や留学生などを交じえ、日本の伝統的な製鉄を行うという、この国際的な小イベントには延べ100名近くの見学者が訪れ、大いに盛り上がったようだ。

4. 機関紙『電子コンパス』

東北学生会では機関紙『ComPass』を毎年発行し、ホームページにて公開している(<http://www.jsme.or.jp/th/student/compass/>)。

5. 総会・卒業研究発表講演会

東北学生会第40回学生員卒業研究発表講演会と総会は2010年3月5日に秋田大学手形キャンパスにて開催する予定である。昼休みにお弁当を食べながらの総会を開催した後、午後から半日で研究発表を行う。優れた研究発表をした学生には独創研究学生賞(高専・大学の部)を授与する。

〔秋田大学 工学資源学部 機械工学科 准教授 三浦 公久〕

表1 「メカライフの世界」展のテーマ一覧

学校名	テーマ名	開催日
八戸工業大学	エコとエネルギーのメカワールド展	10月10, 11日
八戸工業高等専門学校	動かす力	10月24, 25日
岩手大学	2009 イーハートオブサイエンスワールド「メカライフの世界」展	10月24, 25日
一関工業高等専門学校	体験メカトロニクス	10月31日, 11月1日
秋田大学	創意工夫のものづくり	10月24日
秋田県立大学	学生自主研究/大学院生研究成果展示	10月18日
鶴岡工業高等専門学校	親子で楽しむ科学の祭典	8月2日
いわき明星大学	楽しいメカワールド	10月24, 25日